



日本共産党
長岡京市議会議員

二階堂けい子

議会だより No.260

日本共産党長岡京市議会議員団
平成30年12月議会報告

議員団 tel. 955-9551 fax. 955-9741
自宅 tel. & fax. 955-4505

もうつくしが出ています。と、テレビに可愛いつくしが映っていました。
春はそこまで来ています。はーやく来い、はーるよ来い。

「まず、暮らし。」この声！市民と共に市政を動かす。

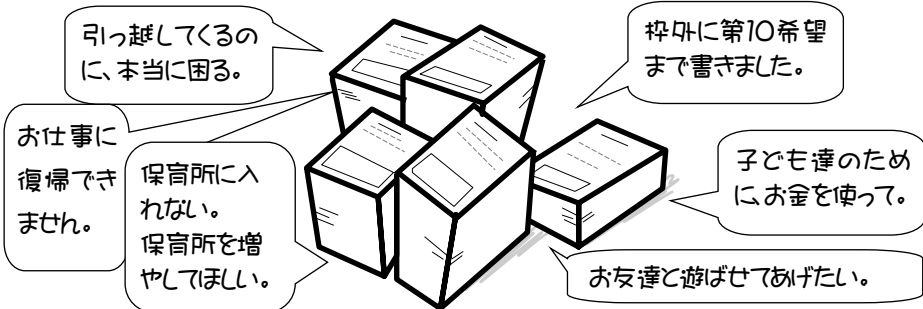


たけやま彩子が昨年12月議会をもって市議の職を辞し、5人の議員団で2019年がスタートしました。新たな決意でがんばります。

「まず、暮らし。」は、地方自治法の冒頭に「住民の福祉増進を図ることを基本として」とあるとおり、市・府どこでも貫くべきスローガンです。市民の切実な暮らしを優先するまちづくりへ、さらにチェックと提案を強めていきます。

憲法は最大のよりどころです。憲法を守り、暮らしに生かす一年に、今年も元気いっぱい頑張ります。

ほいくしょ ふやしこ



『保育所をふやして』
想いがこもった
6651人の署名
『**否決**』

◎ 議会は市民の声を、まっすぐに受け止めるべきです。

保育所に入れない子ども達は1月現在で200人も居ます。「保育所を増やしてほしい」と6651名分の署名と共に、請願書が議会に提出されました。

共産党は賛成しましたが、残念ながら賛成少数で『否決』されました。

反対した平成3クラブ・公明党・輝・維新の議員は、「請願の趣旨には賛同するが、公立保育所は民間と比べてコストが高く、設立までの時間もかかる」と理由を述べました。

しかし請願の内容は、「公立または民間の認可保育所を緊急につくってください」というものです。「保育所に入れない」切実な市民の声を、まっすぐに受け止めるべきです。

党議員団は、市に保育所の増設を求めるとともに、公共施設を利用して臨時保育室を設置することや、民間保育事業者の土地確保や運営に行政が積極的に支援することなどを提案してきました。引き続き、保育所を増やすためにご一緒に頑張ります。

「消費税増税中止を求める意見書」可決！！

10月からの消費税増税の中止を求める意見書を、平成3会派+公明党を除くすべての会派の賛成で可決しました。向日市でも意見書が可決されています。





「透明・半透明ゴミ袋しかダメ」にするの？

ゴミの減量・リサイクルは「市民・事業者・行政」が共同で！

市長は公約で「透明・半透明のゴミ袋に限定する指定ゴミ袋制の導入」をかかげました。

市長は「市民アンケートの結果をふまえた」と言いますが、そもそもアンケート自体に「現状維持」の選択肢はなく、「有料化」か「透明袋」かで答えを求めたものです。

長岡京市では全国に先がけた「分別収集」と「古紙回収」の取り組みを行い、市民の協力でゴミ排出総量は減ってきています。

一方で行政の側は、市民や市内の企業・商店など

への古紙回収システムの整備、自力でゴミを出せない方への対応など、やるべき課題をまだまだ残しています。

市の諮問した審議会でも「内袋の使用などプライバシーの配慮が必要」との指摘や「市民・事業者・行政の課題の共有が必要」との指摘がされています。

一方的に透明・半透明のゴミ袋を押し付けるのではなく、市民の協力を最大限引き出すのが先ではないでしょうか。



「公共施設利用料を、軒並み値上げ」するの？

「なんでも受益者負担」では、公共施設の役割はどうか？

市長は「公共施設使用料の適正化」を公約しました。

市の示す「第4次行財政改革アクションプラン」では、「公共施設の再編整備」と「受益者負担」が強調され、公共施設の利用料を軒並み値上げする計画になっています。値上げで市民が施設を使いにくくなるのでは、せっかくの施設も「宝の持ち腐れ」

になるかもしれません。

市が公共施設を設置する目的は、所得に関係なく、あらゆる市民に文化やスポーツ、市民活動の場などを提供するためです。

党議員団は、市民が納得できる利用料となるよう求めます。



憲法26条

教育費の保護者負担軽減は行政の責務！

「義務教育の無償化」へ

9月議会で教育長が「一律に公費負担するのは悪しき平等主義」と答弁したことに對し、「義務教育無償」をつたう憲法26条の観点からさらに追及しました。

市長は「憲法26条は『すべて無償』とは言っていない」「相応の負担をいただくのは義務」などと答弁しました。

全国の自治体が、給食費の全額・半額補助など努力しているのに、全国で上位の財政力を保つ長岡京市が「憲法理念」すら受け止めないのでは、「ワンランク上の子育て」と言えません。

「子どもの貧困対策法」からも、保護者負担軽減に踏み出すべきです。



学童保育の過密クラブ 早期建て替えを！

長四小 など
長九小 など
長法寺小

市の条例は、学童保育クラブの専用区画を「児童一人あたり1.65㎡」と定めています。

現在5つのクラブが過密で、狭いところでは0.85㎡ほどです。子ども達の安全面からも健康面からも問題です。

党議員団は、条例にしたがい一刻も早く過密状態を改善するよう求めました。市長は「長四小、長九小を最優先に」と答弁しました。

来年度から民間委託される長九クラブでは、市が引継ぎに責任を果たすよう求めました。



☑ 移転する済生会病院の医療の充実を！

跡地活用は市民の声で

済生会病院は、2022年度に阪急西山天王山駅付近へ移転する計画が進められています。

党議員団は、三大疾病の「ガン・心筋梗塞・脳卒中」に対応する医療の充実強化と、市民が頼れる中核病院としての役割を果たすために必要とされる

- ① 専門医などのスタッフの確保の強化
- ② 難易度の高い手術・治療が提供

など新病院での医療の充実を求めました。

また、現在の済生会病院の土地は、市有地であり、市に返還されることとなります。跡地について、市は「売却も含め検討」としていますが、市民の意見を聞いて活用することを求めます。

診療科	23科（内科・外科など）	
病床数	急性期・産期	回復期
	250~280床	30~50床
<ul style="list-style-type: none"> ○ 救急・小児・産期医療などの不採算医療 ○ 在宅医療の充実、医療連携の強化 ○ 地域の医療資源を活用した効果的な医療供給体制の構築 ○ 大災害時の地域災害拠点病院としての医療の提供など 		

(移転する済生会病院の構想より)

☑ 高い国保料の引き下げを！ サラリーマンの健康保険料並みに！

国民健康保険は、国民の4人に1人が加入しています。しかし保険料が高すぎるために、長岡京市でも滞納者が1372人となっています。これは国が公費負担をへらしてきたからで、払える額に引き下げることが必要です。

12月議会では、全国知事会・市長会・町村長

会も要望した「1兆円の公費負担増」を国に求め「均等割」をなくすことを求めました。

市長は「人数の多い世帯は受益が多いため負担は当然」と答弁しました。しかし、サラリーマンの健康保険は、世帯人数が何人でも保険料は同じです。市長の言い分は通りません。

日本共産党の提案

全国知事会・市長会・町村会も求める

「1兆円公費負担増」で、国保料を半減！

国保料は、サラリーマンの健康保険にはない「均等割」（一人いくら）「平等割」（一世帯いくら）が課され、低所得者やファミリーに過酷になっています。

知事会も求める「1兆円公費負担増」が実現すれば、「均等割」「平等割」をなくすことができ、保険料をサラリーマンの健康保険並みに下げることができます。

財源は、株のもうけにかかる課税を欧米並みに引き上げる（1.2兆円）など、やる気があればできます。

<長岡京市の国保料の場合>

	給与年収400万円 30歳夫婦と子2人	年金収入280万円 夫230万+妻50万
所得割	223,500円	73,900円
均等割	151,200円	60,400円
平等割	26,500円	21,200円
合計	401,200円	155,500円
日本共産党の提案	223,500円	73,900円
(協会けんぽなら)	204,000円	

☑ 歩道等にベンチの設置を

高齢者の声を聞いて

高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らすため「歩いて暮らせる街づくり」が重要です。市として住民の声を聞き、市内各地に計画的にベンチを増やすよう求めました。

長九小校区でも高齢の方から「JRの駅まで歩いて30分もかかる。小学校沿いの歩道にベンチを」との要望があり議会で求めましたが、市長は「近くの神足公園にベンチがある」「需要を把握し優先順位を判断」などと冷たい答弁でした。



(喜ばれている
長六小前のベンチ)

大型公共事業に、市民目線でチェックと提案

長岡天神駅周辺整備 - 市民のくらしの目線で -

数十年、数百億円かけて駅の東西に広場と接続道路をつくり、線路を高架にする計画です。

駅周辺の利便さはみんなの願いですが、市の財政は有限であり、市職員もJR西口再開発時と比べて百人以上も減らされています。高齢化のピークを迎える時期、市民生活を支える仕事が十分にできるのか問いました。

安全性を最優先に、身の丈に合う整備となるよう、提案してゆきます。



(西口駅前広場イメージ図)

「道の駅的施設」 - より着実な農業支援を -

市内農家の販売額	
総数	226戸
～50万円	107戸
～100万円	44戸
～200万円	26戸

(農林業センサスより)

市長は「道の駅的施設」について、「北部の竹林に、2023年の開業をめざす。場所も決まっている」と答弁しました。

長岡京市の農家226戸のうち78%は年間販売額が200万円未満であり、「道の駅」ができて他地域の産物が多く並ぶことになります。

市民が地元産の野菜を積極的に食べる「地産地消」や、農地維持へのより具体的な支援など、地道で着実な農業支援策こそ必要ではないでしょうか。

市庁舎建て替え - コンパクトで使いやすく -

98億円(基本計画)の庁舎建て替えは、3月にかけて、基本設計のパブリックコメント(意見募集)が行われます。

ガラス張り(業者提案時)の外装の是非や、広場の屋根(6億円程度)の是非、カフェやコンビニ等の「にぎわい施設」導入の是非など、市民の意見の反映が必要です。

また、なぜその設計なのか、他の方法が採用できなかったのか、検討の経過も示すよう求めました。



(現在の市役所南棟)

あなたのご意見・ご要望をお寄せください。

よろしければおきかせください。

お名前

ご住所

お電話

暮らしの相談ごと、あなたのご意見をお寄せください。

党議員団(直通) 電話955-9551 FAX955-9741

e-mail jcpnagaokakyo@gmail.com

日本共産党長岡京市会議員団

検索